

今月は「かまきり」

獲物に忍び寄り、あっというまに捕まえてしまうカマキリ。からだに備わった武器や獲物を^{あざむ}欺くための技を駆使して、さまざまな獲物を捕まえることができます。草むらのハンター、オオカマキリの生態を中心に、カマキリの強さの秘密に迫ります。



ねらい 卵は固まった泡に守られていると感じられるよう、^{らんしょう}卵鞘のようすをじっくりと観察しましょう。

つかい方のポイント 卵は泡の中に生みつけられることを伝え、泡に包まれていることの利点や、ほかの虫との違いに気づけるとよいでしょう。ページをめくる前に「幼虫はどんなふうに卵鞘から出てくるのかな?」などと問いかけて子どもたちの意見を引き出すと、次のページへの期待感が高まりそうです。

ページをめくると

4 ▶ 5 から 6 ▶ 7 の展開例

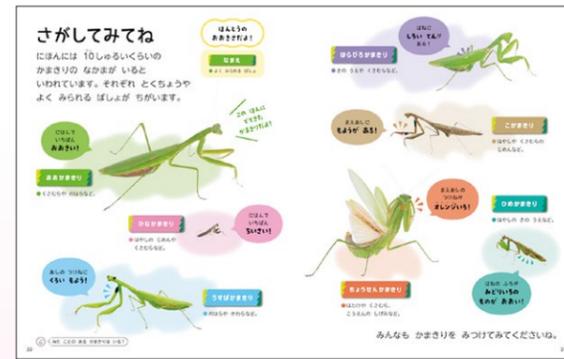


えものを
みつけた!

ねらい 獲物に気づかれないように、少しずつ近づいていくカマキリのようすをていねいに見ていきましょう。

カマキリ いろいろ

22 ▶ 23 ページ



ねらい 日本で見られるカマキリの種類を知り、その特徴やよく見られる場所について興味が広がるようにしましょう。

つかい方のポイント 同じようからだが緑色のカマキリでも、よく見ると大きさや模様が異なることに気づけるとよいですね。24ページには、22～23ページで紹介したカマキリの卵鞘を掲載しています。成虫がよく見られる場所と卵鞘が生みつけられる場所や、卵鞘の形の違いを比べてみてもおもしろいでしょう。

つかまえた!



ねらい 前脚のつかい方や、食べ終わった後の行動にも興味をもてるようにしましょう。

つかい方のポイント カマキリが獲物を食べ終わった後に前脚をきれいにする姿と、自分たちの食事後の姿との共通点を考えてみましょう。ほかの虫はどのように獲物を食べるのか、知っていることを話し合ってみてもよいですね。

あそびの展開例

カマキリってどんなからだ?

- ねらい** ●カマキリのからだの特徴を知り、より興味をもてるようにする。
- 遊び方** ●カマキリの姿を粘土や廃材などをつかって制作したり、絵に描いたりして楽しむ。
(子どもが経験すること)
- 保育者の配慮** ●必要な素材や道具などを準備し、子どもたちがイメージした物を作れるようにする。
●図鑑や絵本を用意し、より正確に体の特徴を再現できるようにする。
●できあがったカマキリをつかって、遊びにつながるような工夫をする。

? 『しぜん』を読めば答えがわかる! 今月の扉ページのクイズ

- かまきりは どうやって えものに きづかれないように ちかづく?
- えものを たべた あと、かまきりは なにを する?
- かまきりの たまごは なんの なかに うみつけれれる?

来月号は「きのこ」です。お楽しみに!!